

## 普及活動情勢報告（令和7年7月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

### 高知で農業に関わってみんかえ！ ～梶原高校出前授業～



高知県の農業について説明する普及指導員

6月11日、津野山地域営農連絡協議会が、高知県立梶原高等学校の1年生を対象に農業に関する出前授業を開催し、生徒26人が参加しました。

農業改良普及課は「高知で農業に関わってみんかえ！」をテーマに、本県農業の特徴や、職業として捉えた農業の種類、最先端技術や収入に関する農家の声などを紹介しました。

参加者からは「農家の平均的な収入はどれくらいか」「最先端技術を取り入れた場合、費用はどれくらい必要か」など質問がありました。

今後も同校の農業コース2年生を対象に、地域の栽培品目に関する講習や収穫・調制作業実習、農業関係の就職・進学に関する授業の開催を計画しています。

### より良い農業の実践に向けて ～津野山地域一斉環境点検～



点検活動を行う普及指導員等

6月24日、農業改良普及課はJA、2町と連携して津野山地域の園芸品生産者34戸を訪問し、農薬の希釈手順と計量機具の確認を行いました。

点検の結果、10戸で農薬の計量手順が明確でないことが分かり、農薬の誤使用を防ぐため、農薬使用一覧表と農薬ラベルのダブルチェックをするように指導を徹底しました。

参加者から「メスシリンダーをJAで買えるようにしてほしい」との声を受け、JA窓口での取扱いを近日中に開始する予定です。

農業改良普及課は、環境点検の結果から再度指導を行い、農産物生産の環境整備を推進していきます。

### 農産物の安全・安心を推進 ～直販所安全安心ネットワーク研修会～



農薬の適正使用に関する説明を聞く参加者

6月25日、JA土佐くろしお資材センターふれあい2階会議室において、直販所関係者を対象に、直販所安全安心ネットワーク研修会を開催しました。

農業改良普及課は、農薬適正使用、生産履歴帳簿の説明に加え、間違いやすい有毒植物について紹介しました。

参加者からは「農薬の適正使用に関してよく理解できた」「生産者との情報共有に努めていきたい」といった声がありました。

農業改良普及課は、今後も農薬事故を防止するために、直販所関係者や生産者に対する啓発活動を続けていきます。

## 夏場の安定出荷に向けて ～JA津野山ミョウガ部会目慣らし会～



目慣らし会の様子

6月26日、JA高知県津野山経済センターでJA津野山ミョウガ部会目慣らし会が開催され、生産者14人が参加しました。

農業改良普及課は、JA営農指導員とともに病害虫の防除対策の徹底について周知しました。また、SAWACHIを活用した温度管理について紹介しました。

生産者らは、いずれの項目にも関心が高く、活発な質問や意見が交わされました。

農業改良普及課は、引き続き、普及活動を通じて生産者の関心の高い話題提供と関連する指導を行っていきます。

## シシトウのさらなる普及を目指して ～中土佐町からシシトウの出前授業～



学生に向けて説明する生産者

6月30日、東京調理製菓専門学校洋食コースの学生約20人を対象に、中土佐町の雨よけシシトウ生産者のほ場からオンラインによる出前授業を行いました。

農業改良普及課は、シナリオを作成して、中継を行い、ほ場の様子、栽培の概要、天敵の働きなどを分かりやすく伝えました。

多くの学生は、リアルタイムでの生産現場の様子に興味を示し、「辛さを見分ける方法はあるか」「1番美味しいオススメの食べ方を教えてほしい」などの質問がありました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携してシシトウ栽培の普及および消費拡大に取り組めます。

## 家族がいきいきと参画する農業経営に向けて ～家族経営協定の締結支援～



協定のメリットを説明する普及指導員

7月2日と9日、津野町と中土佐町の園芸農家のご夫婦（2組）に対して家族経営協定の締結に向けた説明を行いました。

農業改良普及課からは、家族経営協定のメリット等を説明しました。

それぞれのご夫婦からは、家族経営協定をきっかけに、営農課題の話し合いの場になることや、家事の分担についても関心があることなどの意見をいただき、協定の締結を検討してみることになりました。

農業改良普及課は、今後も継続して家族経営協定の推進と、協定締結の支援をしていきます。